

公共施設の複合化や統廃合の進め方は

大規模改修が避けられない、安全性が保てないものは早急に検討



まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団



持続可能な行財政運営について

問 公共施設の複合化や統廃合の進め方は。
答 施設種別ごとの個別施設計画で、今後の方向性として、利用率の低い施設は他の公共施設との複合化や統廃合を検討する施設と位置付け、中でも大規模改修が避けられないものや安全性が保てないものは、早急に検討を進めていく。施設の種別により異なるが、複合化や統廃合への理解を深めるため、基本的には、対象地域のコミュニティ協議会長、自治会長及び役員、地域住民や利用者の皆さんとの意見交換の場を順次設け、丁寧に対応していく。

問 複合化や統廃合を進めていく場合の周知方法は。
答 広報たはらでは毎年1回、市の施設の現状や適正化の考え方を掲載し、ホームページでは総合管理計画や個別計画のほか、個別の施設情報をまとめた施設カルテを公表している。早い段階から情報を提供して検討を進めるとともに、より効果的な方法で引き続き、周知に努めていく必要があると考える。

問 ふるさと納税（渥美半島田原市応援寄附金）の現状の評価と今後の取り組み方針は。

答 寄附用ポータルサイトの拡充や返礼品の数の増加により、寄附金額が大きく伸びたと考える。今後は、体験型の返礼品の拡充や現地決済型ふるさと納税の実施、クラウドファンディング型ふるさと納税の導入を図るなど、更なる認知度の向上・寄附の拡大に努めたい。

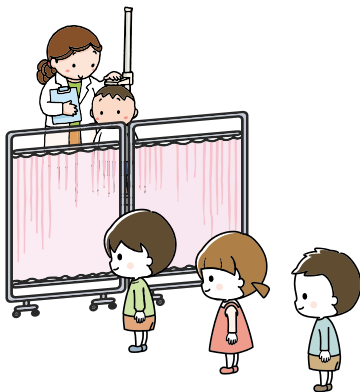
問 今後の寄附金の使い道の考え方は。

答 より一層寄附者の共感を得ることができ、意向を明確に反映できるような寄附の目的を検討していく。



児童生徒のプライバシーや心情に配慮した健康診断の実施について

問 プライバシー等に配慮した健康診断の実施状況は。
答 男女別に行う、周囲から見えないよう個別の診察スペースを用意する、体操服等を着たまま実施するなど配慮している。当日、事情により健康診断を受けられなかった場合は、個別の対応が行われている。また、保護者には保健だより等で事前に検査内容等が周知されている。



5歳児健康診査実施に向けての考え方は

情報収集や近隣自治体の動向を注視していく



つじ ふみこ
辻 史子
公明党田原市議団

